

情報連絡員報告総括表（令和6年3月分）

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名（100%）

業界の景気動向（前年同月比）

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>（臨時・パートを含む）</small>			業界景況							
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化					
製 造 業	食料品	2	2			3	1	1	3		1	3		2	2			4		1	3			4		1	3						
	繊維工業		3			3		2	1			3			2	1		3			3			3			2	1					
	木材・木製品			1		1			1			1				1		1				1		1				1					
	紙・紙加工品			2		2			2			1	1		1	1		1	1			2		2			1	1					
	印刷		1			1			1			1			1			1			1		1			1		1					
	化学・ゴム																																
	窯業・土石製品		2	1		3		1	2			3			2	1		3			3			3			2	1					
	鉄鋼・金属	1				1			1			1			1			1			1		1			1		1					
	一般機器	1	2			3		1	2			3			1	2		2	1		2	1	1	2			2	1					
	電気機器		1			1			1			1				1		1			1		1				1	1					
	輸送機器			1			1					1				1		1				1			1			1					
その他																																	
小計		4	11	5		18	2	5	14	1	1	17	2	2	10	8		18	2	1	14	5	1	18	1	1	12	7					
非 製 造 業	卸売業		2			2		1	1			2			1	1		2		X				2			2						
	小売業		4	2		5	1	5	1		1	3	2		2	4		4	2							6			3	3			
	商店街		1			1		1				1			1			1									1			1			
	サービス業		3	1	X			2	2			4			3	1		3	1								4			3	1		
	建設業	1	2	1				2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	3											4			3	1
	運輸業	1						1				1			1			1						1					1			1	
	その他		1	1									2		2			2						2						2			2
小計		2	13	5		8	1	12	7	1	3	14	3	2	11	7	2	15	3				20			1	14	5					
合計		6	24	10		26	3	17	21	2	4	31	5	4	21	15	2	33	5	1	14	5	1	38	1	2	26	12					

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和5年3月～令和6年3月)

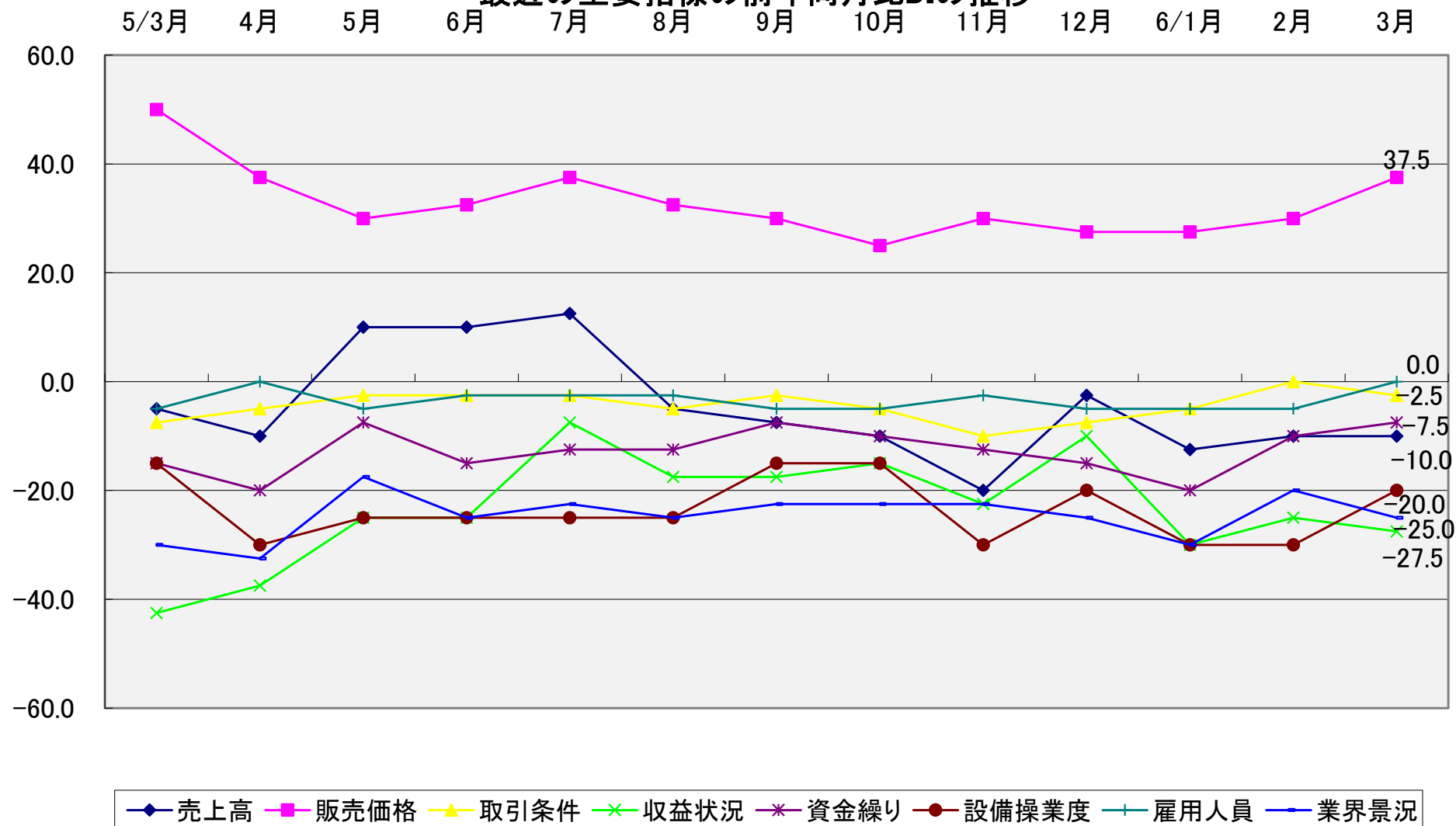
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	5/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6/1月	2月	3月	増減
売上高	-5.0	-10.0	10.0	10.0	12.5	-5.0	-7.5	-10.0	-20.0	-2.5	-12.5	-10.0	-10.0	0.0
販売価格	50.0	37.5	30.0	32.5	37.5	32.5	30.0	25.0	30.0	27.5	27.5	30.0	37.5	7.5
取引条件	-7.5	-5.0	-2.5	-2.5	-2.5	-5.0	-2.5	-5.0	-10.0	-7.5	-5.0	0.0	-2.5	-2.5
収益状況	-42.5	-37.5	-25.0	-25.0	-7.5	-17.5	-17.5	-15.0	-22.5	-10.0	-30.0	-25.0	-27.5	-2.5
資金繰り	-15.0	-20.0	-7.5	-15.0	-12.5	-12.5	-7.5	-10.0	-12.5	-15.0	-20.0	-10.0	-7.5	2.5
設備操業度	-15.0	-30.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	-15.0	-15.0	-30.0	-20.0	-30.0	-30.0	-20.0	10.0
雇用人員	-5.0	0.0	-5.0	-2.5	-2.5	-2.5	-5.0	-5.0	-2.5	-5.0	-5.0	-5.0	0.0	5.0
業界景況	-30.0	-32.5	-17.5	-25.0	-22.5	-25.0	-22.5	-22.5	-22.5	-25.0	-30.0	-20.0	-25.0	-5.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
令和6年3月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足がある。また、ウクライナ戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、特に電気代の値上がりによる経営を圧迫する状態が続いている。また、生鮮食品の値上がりの影響により、野菜価格も値上がりしており、原料野菜への影響も出始めている。4月中にオンラインでの理事会、5月9日に通常総会を予定している。
	醤油味噌	年度末を迎えて、生産・出荷が多くなってきた。ただ、末端の販売は伸び悩んでいる。先月、スーパーマーケットトレードショーの出展により一部組合員において商談が進み、新規の取引に繋がる話も出てきている。4月からの輸入小麦価格が発表されたが、前年比△0.6%になってほぼ変わらず。2024年物流問題として以前から物流方法変更、物流費改定が心配されてきた。ここに来てメーカーからの案内は商品代とは別で、運賃請求をする場合など運賃を主題に値上をする案内が出始めている。
	他に分類されない食料品 製造業	コロナ、インフルエンザの影響もなく、順調に新学期を迎えようとしている。春休みの間に工場点検や修復を進めなければならない。また、異物混入等があるとはならない。学校給食に携わる責任を感じる。零細企業であっても物価の値上がりに伴い、ベースアップや時給の引上げを考えている。
	製麺	3月は組合活動もなかった。天候も予定より寒さが続き、売上も少しずつ回復している。特に観光に取組んでいる事業者は、活発にお客様が動かれており、大勢の観光客で賑わっている。このままゴールデンウィークまでこの活発さが続いていくことを願っている。4月、10月に伊勢うどんの試食会をする予定である。現状を把握して、より良い製品作りを取組んでいく。先日、横浜市製麺協同組合の組合員が5名来所し、業界の情報交換を行った。
繊維工業	組紐	販売価格は上昇しているものの、材料等の値上がりが収益に追いついていない状況で、収益が悪化している。
木材・木製品	木材	依然として、円安と燃料費、輸送費等のコスト高騰で厳しい経営環境が続いている。
紙・紙加工品	木材チップ	原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題である。
	古紙	3月の古紙仕入量：段ボール・約95±4%、新聞、チラシ・約87±5%、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約90±5%と思う。大企業の質上げの報道は、中小零細企業では困難な水準が目立ち、当社では出来る範囲の三重県の最低賃金以上の前年比実質物価上昇率の2~3%アップでコロナ前から給与支給額を比較すると6%以上とした。4月以降の生活必需品の値上げが相次ぐ中、日銀の政策転換報道後も対ドル為替も150円以上の円安で、古紙の価格は国内古紙価格と全品キロ当たり3~5円程度高いところである。地域やお店によっては、インバウンドで大変忙しいようで、同業者様との行政等入札古紙仕入価格は国内価格では仕事は貰えない感じである。名古屋の組合では古紙の持ち去りが名古屋市で激減したので回収日等をネット掲載に戻すとの事であるが、問題が解決されたわけではないので、ゴミ等の置き去りや古紙や古着の持ち去りの行為等が激増しないと良いと思う。立法化をお願いして解決の道に向かえると良くなると思う。
印刷	印刷	3月期において、年度末もあって動きがみられた。ただし、例年と比べると仕事量は減少気味である。また、2月期でも報告しているが、三重県からの発注分において、共同窓口みえで一度見積合わせを行い、不調となったものが遅れて県より見積依頼がくるため、受注してから作業時間が短くなる。また、3月においては年度末納期が重なるなど事業者泣かせになっている。あと、先月からみても印刷会社に見積をとってから共同窓口みえで見積合わせを行うような事例も散見される。印刷会社に先に見積を依頼することは控えて欲しい。
窯業・土石製品	伊賀焼	段々と各組合員は忙しくなっているように感じる。注文数の増加、お客様の増加も影響しているようであるが、問題としては、原料費の値上がり等、まだまだ頭を悩ませている。
鉄鋼・金属	鍍金	業界の生産額は、前月よりもやや増加している。徐々に車載関係の受注が戻ってきており、今後についても受注が増加してくる見込みである。
一般機器	四日市市	各企業により濃淡があるが需要、業績は停滞気味である。これまでの半導体不足や紛争の影響の他に急激な円安、あらゆる物価の上昇も響いている。販売価格が上昇できても経費の転嫁のみで人件費上昇分を反映させるのが難しいことと、給与アップでも人が集められない影響もみられる。日経平均高値更新や大企業の賃金上昇といった報道もされ、デフレからの脱却、インフレが明確となってきた。中小企業も物価、賃金上昇分を含めた価格に反映できた上での需要増につながっていくことを期待したい。
	津市	材料の値上がり分を反映した売上のため、昨年より数字上は多いが、実際には昨年より少し悪い。欧州や中国でEV関連の受注が鈍化していることで、自動車部品は少し下がってきている。政府は賃上げに後押しするというが、中小企業にとっては、なかなか大手企業（あるいは得意先）は値上げを認めてもらえず、さらに大手企業と中小企業の格差が出るのではないかと心配である。

報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
令和6年3月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
	伊勢市	年度末を迎えて、より悪くなった状況になっている。特に自動車関連は悪い。設備投資も抑え込まれていて販売価格は横這いとなり、売上高は減少し、収益状況は悪い。	
	電気機器	鳥羽市	3月末の集中発注も終わり受発注も緩やかになった。4月の新規に期待している。3月の動きは95%~100%始動であった。
	輸送機器	伊勢市	中国との関連が多いところでは、景気悪化の影響が顕著であり、物量は減少し、収益環境悪化となっている。収益環境が厳しい中、賃上げ回答は大企業中心に満額回答が多く、厳しい状況が続く。
非製造業	青果	野菜前半：全体的に入荷量が少なめの中で高知県産の新生姜、熊本県産の新ごぼう、愛知県産の新玉葱、鹿児島県産の新じゃがいもと春野菜の入荷が順調に増えている。愛知県産のキャベツ、兵庫県産のレタス、長野県産の白菜は天候の影響で入荷が少なく高値となっている。 野菜後半：天候不順や寒の戻りで、全体的に入荷が少なく、キャベツ、レタス、白菜の高値が続いている。また、宮崎県産、高知県産のきゅうり、愛知県産、熊本県産のミニトマト、トマトも値上がりしている。 果物前半：入荷が全体的に少ないため、価格は高値で推移している。県内産のイチゴは引き合いが強く高値である。青森県産のりんご、熊本県産のメロンは入荷量が少ない。人気のデコボンも高値である。宮崎県産マンゴーの入荷が始まった。 果物後半：県内産のイチゴは昨年に比べ値段は高めだが、気温が上がれば値段は下がる見込みである。青森県産のりんごは高値で推移しており、デコボン、露地物も終盤になり高値が続いている。	
	自転車	人材の獲得競争が激しく、賃上げを見込む大企業と比べ、街の小さな自転車店である小規模事業者は、材料価格の上昇分を未だ価格に転嫁できておらず、商品の値上げはあっても、儲けとなる売上確保が進んでいない状況である。自転車の納入並びに点検等、一年で一番忙しい春の需要も少子化等の影響により、昨年比マイナス20%の台数となった。4月上旬には日本最大級のスポーツフェスが東京ビッグサイトにて開催される。様々な新作モデルが発表され、試乗もでき、BIKEの進化を体感できるとのことである。世界中のスポーツ完成車からヘルメットやウェア周辺グッズまで最新モデルが集まるイベントとなる。	
	電器	年度末の時期にしては先月に続き商品の動きが少なかった。家電品への関心が弱いのか、通常であれば転動や引っ越し関連で需要があるところが乏しい動きであった。年度末から県の省エネキャンペーンが始まったので、これから期待したい。	
	石油	全国石油協会が先頃にまとめた2023年度石油製品販売業経営実態調査(22年度決算)によると、営業利益ベースの赤字企業割合は37.1%とほぼ前年実績(37.2%)と同様の数値だった。さらに、赤字企業(37.1%)に営業利益の低い「0円以上500万円未満」の企業(25.6%)を含めると構成比は62.7%で前年(66.3%)を3.6ポイント下回ったものの、依然として小規模事業者が厳しい経営状況にあることが浮き彫りとなった。小規模ほど依然経営が厳しく、廃業理由として半数が後継者難をあげている。	
	スポーツ	当業界としては、大谷選手の活躍、あるいは冬のパリオリンピックの話題等で盛り上がっている。しかし、組合員の売上に関係しているかどうかについては少し疑問が残る。3月、4月は新一年生の体育用品の販売で忙しくしている。	
商店街	熊野市	コロナ規制緩和前の昨年同時期に比べ売上は増加傾向であるが、全体的な業況はこの時期としては足踏み状態にあると思われる。また、天候も思ったほどよくない日が多かったのも影響があると感じる。	
サービス業	旅館	昨年は需要喚起策を要望して2月10日から3月24日まで県独自の「おいでよ三重旅キャンペーン」を展開していただいたおかげで、春休みの個人客が急回復してコロナ前に戻ったようであった。今年は強力な支援策は無かったが、3月後半から春休みのファミリー客が大きく業績を伸ばした。対前年同月比100%~110%位、2019年同月比は90%~100%程度のものであった。	
	警備	昨年同月と比べ、今年は後半は雨天続きで仕事が減少し、稼働日数が減少したため売上高は減少した。	
建設業	内装工事業	年度末であることもあり、前年同月比で倍増となった。新年度は2024年問題も含め、業界はどうしても末端の最終締め作業のため、労働時間の制限等で非常に厳しい状況になると思われる。	
	水道工事業(亀山市)	亀山市からの業務委託について、事故なく年度末を迎えた。量水器の取替えについては、取替個数が昨年より少なかったため、金額は減少したが、漏水の方が昨年より増加したため、合計では前年より売上は増加した。資材等の価格上昇や納期について、不透明な状況が続く見込みである。	
運輸業	トラック	軽油価格は横這いで推移しており、依然として高止まり傾向にある。電子・デバイス部門は回復傾向にあるものの、今月については若干減少傾向にあり、関連する輸送も先月並みで推移した。自動車部門では先月に引き続き、ダイハツ工業の不正問題で影響を受けたものの、年度末ということもありトヨタ自動車、本田技研とも好調であったことから、関連する輸送も増加した。スーパー・小売部門については引き続き増加傾向にあることから関連する輸送が増加した。	

報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
令和6年3月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
----------	-----------------------	-------------------------------------------

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	他に分類されない食料品 製造業	事業承継問題を抱えている。従業員2人を理事に入れたいと思っている。いろいろアドバイスをいただきたい。
食料品	製麺	今後の取組みとしては、雇用問題、人件費の問題等もあり、また、安全衛生面に対しても業界の内容を把握していければと思う。
紙・紙加工品	古紙	長い間お世話になりありがとうございました、不徳ですがこれからも仕事ができる間は少しでも世の中のお役に立てるよう努力をしようと思っておりますので部署が変わっても、宜しくお願い致します。
一般機器	四日市市	あらゆる物価や賃金の急上昇への対応に苦慮している、政府により中小企業の価格転嫁を促す指針が発表されたので、引き続き細やかな支援をお願いしたい。
サービス業	旅館	諸物価の高騰や人手不足等課題が山積している宿泊業にあっては、「省エネ」、「DX」関連の補助金、助成金等新年度になって新しく出たメニューを紹介してもらいたい。